

科目名	図画工作						
授業形態	演習	学年	1年	開講時期	後期	単位数	1単位
担当教員	葉山 亮三						

内容および計画	図画工作における表現とは形や色、材料などに係わりながら、描いたり、作ったりする造形活動を通して、発想や構想の能力、創造的な技能を高めるものである。図画工作では主に平面表現を取り扱う。平面表現の基本となる色彩、線、面を個々に学ぶことで、それぞれの特性を理解する。次にモダンテクニック等の技法体験を通じて、材料や用具の特性を活かし、感じたこと、想像したこと、伝えたいことを表す幅広い術を養う。また描画表現を通して、五感を使って対象を感じ取る感性を育成し、共同制作により、大きな対象を構成する力を得る。これまでの自分たちの活動を振り返ることで鑑賞の能力を養う。
1	オリエンテーション 鑑賞 ~ アンリ・ルソーとその作品 ~
2	色彩の理解1 ~ ヨハネス・イッテンの色相環 ~
3	色彩の理解2 ~ 色水づくり ~
4	線の表現1 なぐりがき ~ 旅する線、線の表情を見つめて ~
5	線の表現2 多様な線 ~ オリジナル筆を作る ~
6	線から面へ ~ クレヨンの線、絵の具の面 ~
7	色面構成 ~ 色紙を組み合わせて作る ~
8	モダンテクニック1 偶然の利用 ~ ドリッピングとデカルコマニー ~
9	モダンテクニック2 凹凸の利用 ~ フロッタージュ ~
10	モダンテクニック3 型の利用 ~ スパッターリング ~
11	モダンテクニック4 版の利用 ~ ステンシルとスタンピング ~
12	描画表現 ~ 見て、触って、味わって描く ~
13	日光写真 ~ 光を写す、写真表現 ~
14	共同製作 ~ ムナーリの木 ~
15	まとめ ~ 絵画表現と幼児画の持つリアリティ ~

教科書	特になし
-----	------

参考書	『表現 - 絵画製作・造形 - <理論編>』 新川昭一 監修 三晃書房 発行 『木をかこう』 ブルーノ・ムナーリ 作 須賀敦子 訳 有限会社・至光者 発行 『図画工作科研究』 藤江充・佐藤洋照 編著 日本文教出版 発行 ・幼稚園教育要領<平成20年告示>』 文部科学省 ・小学校学習指導要領<平成20年告示>』 文部科学省 ・『幼稚園教育要領解説』 文部科学省 ・『小学校学習指導要領解説』 文部科学省
-----	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

成績評価	評価方法	割合
	作品、リアクション・ペーパー	70 %
	レポート	15 %
	試験結果	15 %

学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> それぞれの造形素材、技法及び道具について基本的な扱い方を身に付ける 演習を通じて、発想力を豊かにし、素材を活かして表現する こどもの表現を理解し、指導する力を得る。
--------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

先修条件	
------	--

その他	
-----	--